

香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」活動報告（その2）

長谷川 修 一
鶴 田 聖 子

1. はじめに

ジオパーク（大地の公園）は、大地の成り立ちから地域の生態系、歴史、伝統、文化に関する新たな位置づけをし、教育、自然保護、ジオツーリズムなどの活動を通して、地域に誇りを持つ人のネットワークを強化し、地域の持続可能な社会的、経済的発展を目指す活動である。日本では2019年1月現在、9ヶ所のユネスコ世界ジオパークと、44ヶ所の日本ジオパークが認定されている¹⁾。四国では、室戸ユネスコ世界ジオパーク、四国西予ジオパークが認定され、また土佐清水市、三好市が認定を目指している¹⁾。瀬戸内海には大分県におおいた姫島ジオパークがあるものの、瀬戸内を世界に発信するジオパークはまだ認定されていない。

香川県は、約1400万年前の瀬戸内火山活動によって形成されたサヌカイト等の火山岩類の学術研究や、火山岩類が侵食されて形づくられた讃岐平野と備讃瀬戸の造形美、および里山や島の岩石を利用した多様な石と文化から世界に類のないジオパークになると期待される。讃岐ジオパーク構想は、香川県全域をジオパークの対象地域として、讃岐平野と備讃瀬戸の自然・歴史・文化を活かした地域の持続的な発展をめざしている（長谷川ほか、2013）²⁾。

筆者らは讃岐ジオパーク構想の推進を目的に、2010年から継続して香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」を開講し、香川県内の地形・地質と石の文化の魅力を発掘し、讃岐ジオパーク構想に必要なジオサイトの資料を作成するとともにネットワークを広げる活動を続けている（表1）。2013年度までの成果は、香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」としてとりまとめられている（長谷川・鶴田、2013）³⁾。また2014年度と2015年度には、ジオサイトの地形・地質と自然・歴史・文化等との関わりを探求する「讃岐ジオサイト探求」を開講した（長谷川・鶴田、2017）⁴⁾。更に2016年度から2018年度は「讃岐ジオガイド養成講座」を開講し、ジオパークの活動にかかせないジオガイドを養成すると共に、教育のためのガイド付きジオツアーについて受講生と研修を重ねている（長谷川・鶴田、2018）⁵⁾。

本稿では、「讃岐ジオサイト探訪」活動報告（長谷川・鶴田、2014）⁶⁾の続報として、2016年度から2018年度に実施した香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」の活動を報告する。

2. 2016年度の讃岐ジオサイト探訪

2016年度は、高鉢山（綾川町）、城山・猫山・大高見峰（丸亀市、まんのう町、綾川町）、粟島・志々島（三豊市）、大野原のため池（観音寺市）の4地点を探訪した。2010年に11名ではじまった香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」は、2016年度には受講生は39名になった。

（1）高鉢山（綾川町）

探訪日時：2016年4月17日（日）

受講者人数：39名

表1 香川大学公開講座「讃岐ジオサイト」探訪・探求・養成講座の軌跡

讃岐ジオサイト探訪			ジオサイト探求	ジオガイド養成講座	
月日	コース	見どころ			
平成22年度	5月16日	ガイダンス、五剣山と庵治石	石の民俗資料館、八栗寺磨崖仏、崩壊転石、庵治丁場	H26.9.14	
	6月20日	屋島の名跡	雪ノ庭、畳石、屋島洞窟、屋島の黒石	H26.5.11	H28.10.9
	7月18日	雨滝自然科学館と火山石石棺	日本最古のナマズ化石、火山	H26.7.6	H29.6.4
	8月22日	小豆島	寒霞溪、中山千枚田、大坂城跡残石公園	H26.12.7	H28.11.6
	9月19日	ガイダンス、高松クレーターと由良石	由良石採石場、高松クレーター	H27.4.19	
	10月17日	五色台周辺地域のサヌカイト	金山のサヌカイトと楽器	H26.4.20 H26.6.15	H28.11.6
	11月21日	飯野山(讃岐富士)と丸亀平野	飯野山、扇状地、活断層	H26.10.12	H29.5.14
	12月19日	弥谷寺と天霧石	宗吉瓦、弥谷寺の磨崖仏、天霧城址		H27.6.14
	1月23日	ガイドブック発表会(香川大学生涯学習教育研究センター)	室戸ジオパーク推進委員会 柴田伊廣氏講演会「室戸ジオパークの取り組み」		
平成23年度	4月24日	高松市峰山と栗林公園	峰山、栗林公園		H28.9.4
	5月22日	豊島石と地すべりによる棚田	家浦八幡神社、檀山、唐櫃の棚田と清水	H27.5.17	
	6月26日	観音寺市有明浜と江甫草山	有明浜、江甫草山(有明富士)、七宝山	H26.11.9 H27.10.18	
	7月24日	香東川と塩江温泉	塩江温泉、花崗岩と和泉層群の不整合、中新世流紋岩と熱水作用		
	9月4日	国分寺と鷺ノ山石の石棺	鷺ノ山の丁場、石舟石棺、国分寺、サヌカイト	H27.4.19	
	10月23日	長尾断層と嶽山	長尾衝上断層露頭と最新の断層変位を示す低断層崖	H27.9.13	
	11月27日	大麻山と金毘羅神社	大麻山の讃岐層群と花崗岩との不整合、金比羅神社からの讃岐平野		H29.4.23
	12月25日	女木島と男木島	鬼ヶ島洞窟、柱状節理、ジイの穴、タンク岩(柱状節理)		
平成24年度	4月22日	ガイダンス、勝賀山	勝賀城、山頂からの讃岐平野		
	5月27日	堤山(羽床富士)と綾川	堤山、快天山古墳、滝宮の綾川		
	6月24日	門入ダム周辺	長尾断層と大川撓曲、2004年台風23号災害による土砂災害跡		
	7月22日	東かがわ市の海岸	ランプロファイア岩脈、花崗岩と和泉層群と不整合	H27.7.12	H29.7.9
	9月23日	満濃池と江畑断層	江畑断層、焼尾峠礫層、満濃池、和泉層群		
	10月28日	塩飽広島と青木石	青木石、立石八幡神社		
	12月9日	善通寺五岳	香色山、筆ノ山、我拝師山		
	4月21日	ガイダンス、女木島と高松城跡	鬼ヶ島洞窟、柱状節理、高松城跡の石垣		
	5月19日	聖通寺山と青ノ山	聖通寺山のゆるぎ岩と青ノ山古墳群の巨石群		
	6月23日	伊吹島	讃岐岩質安山岩の貫入形態、島四国		H29.9.10
	7月21日	荘内半島	紫雲山、葛島、丸山島	H26.11.9	
	9月8日	女体山と護摩山	大窪寺、女体山、護摩山		
	11月3日	高見島	竜王社の火山角礫岩と安山岩の石垣		
	12月8日	城山・郷師山	城山と金山のサヌカイト、郷師山の凝灰角礫岩石窟仏	H26.4.20 H26.6.15	
1月12日	直島	直島八幡神社、本村の石垣、地中美術館ほか			
平成26・27年度	(「讃岐ジオサイト探求」開講のため「讃岐ジオサイト探訪」は未実施)			H27.11.5 丸亀城本島	
				H27.12.6 小豆島土庄町(皇踏山)	
平成28年度	4月17日	ガイダンス、高鉢山	高鉢山、風穴、椎尾八幡神社		
	5月8日	城山・猫山・大高見峰(綾歌三山)	城山、猫山、大高見峰縦走、平成16年台風の痕跡		
	6月5日	粟島・志々島	粟島陸けい砂州・馬城八幡神社、志々島埋め墓・大楠		
	7月10日	大野原のため池	豊稔池、井関池、大谷池、岩鍋池		
平成29年度	11月5日	ガイダンス、土器川上流	木戸の馬蹄石、天川神社、焼尾峠礫層、断層地形		
	11月12日	太麻山(土庄町・小豆島町)	閃緑岩採石場、凝灰角礫岩タフォニ、崩壊岩塊、小豆島霊場		
	12月10日	水主三山(東かがわ市)	那智山山頂の細粒花崗岩、本宮山花崗岩コアストーン、水主神社		
平成30年度	4月15日	ガイダンス、庵治半島	竹居観音岬、白粉峠、花崗岩コアストーン、あじ竜王山公園		
	5月13日	与島・岩黒島・櫃石島	丁場跡、花崗岩コアストーン、陸けい砂州、ハンレイ岩の崖錐、黒浜		
	6月10日	手島	香川本鷹、花崗岩とホルンフェルス、タングステン鉱山跡		
	10月14日	佐柳島	くじら石、埋め墓、柱状節理の発達した讃岐岩質安山岩		
	11月11日	鬼ヶ白山・朝日山・傾山	流紋岩質安山岩と讃岐岩質安山岩、茶畑、三豊層群、大水上神社		
	12月9日	小豆島丁場巡り	花崗岩丁場跡、江洞窟		

主な見どころ：

高鉢山は別名「綾上富士」とも呼ばれる讃岐七富士の1つで、他の讃岐七富士と異なり花崗岩の丘陵中にあることが特徴である。高鉢山の北西斜面には、山頂付近の讃岐岩質安山岩が崩壊してできた崖錐堆積物中の岩塊の隙間から冷風が吹き出す風穴があり、養蚕紙、ウド、ミカン、豆などの農産物の天然の貯蔵所として利用されていた。探訪では、かつて養蚕業に利用された風穴がどのようにしてできたかを、現地で調査した。

（2）城山・猫山・大高見峰（丸亀市、まんのう町、綾川町）

探訪日時：2016年5月8日（日）

受講者人数：31名

主な見どころ：

城山、猫山、大高見峰と連なる山は綾歌三山と呼ばれ、尾根の縦走路から飯野山や堤山等の眺望を楽しむことができる。城山は花崗岩と砂質片岩（領家変成岩類）からできているが、猫山・大高見峰は山頂付近に讃岐岩質安山岩が分布している。城山には長宗我部氏が讃岐侵攻の軍事拠点とした西長尾城の遺構が残っている。猫山にはかつて日本で珍しい珪線石鉱山があり、日本地質学会選定の「香川県の鉱物」に指定されている⁷⁾。大高見峰には天狗岩と呼ばれる火山角礫岩の岩塊があり、山頂の高見峰神社には天狗が祀られている。また、平成16年の台風23号による豪雨によって、綾歌三山の斜面でも崩壊が多数発生し、今でもその爪痕が残っている。探訪では、綾歌三山の地形・地質と歴史などの関わりについて検討した。

（3）粟島・志々島（三豊市）

探訪日時：2016年6月5日（日）

受講者人数：27人

主な見どころ：

粟島と志々島は花崗岩と領家変成岩類の砂質片岩からできている。粟島は3つの島が2つの砂州によってつながった陸けい島で、城山山頂からの眺望が見どころである。江戸時代から北前船で北海道と交易するなど海運業が盛んで、砂州の海岸に鳥居のある馬城八幡神社は、豊島石製の石灯籠、花崗岩製の玉垣など、石造物の宝庫である。明治30年に設立された「地方海員養成学校」の木造2階建ての近代洋風建築の建物は、香川県の登録有形文化財に指定されている⁸⁾。

志々島には樹齢約1200年といわれる大楠があり、香川県の天然記念物に指定されている⁹⁾。現地では、過去に起きた土砂災害の大楠への影響について検討した。

（4）大野原のため池（観音寺市）

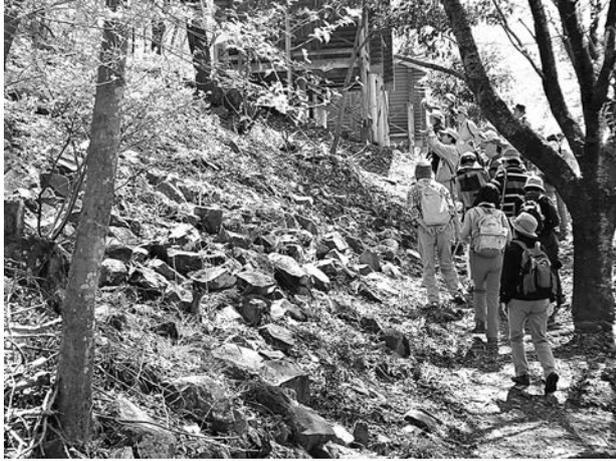
探訪日時：2016年7月10日（日）

受講者人数：33人

主な見どころ：

大野原は「月夜にも焼ける」と言われたほど渇水で苦労した地域で、ため池の建設によって香川県を代表する農業地帯になった。最古のため池は花崗岩を基盤とした大谷池で、1470年（文明2年）に築造されたと伝えられている。大谷池の南には柞田川を堰き止めた井関池、その上流には和泉層群砂岩泥岩互層上に豊稔池が築かれている。豊稔池は当時の最新技術であるマルチプルアーチ構造で1930年に完成し、1997

年に国の登録有形文化財に¹⁰⁾、2006年には重要文化財（建造物）に指定された¹¹⁾。また、岩鍋池堰堤付近は領家花崗岩類と和泉層群の不整合境界で、第四紀の前半に活動したと推定されている竹成断層の上盤に当たる。中央構造線の活動によって隆起した讃岐山脈の北側に広がる扇状地を涵養するために築造されたため池を通じて、先人の努力を学んだ。



高鉢山の風穴（綾川町）



城山山頂（丸亀市、まんのう町）



志々島の大楠（三豊市）



豊稔池（観音寺市）

写真1 2016年度「讃岐ジオサイト探訪」見学状況

3. 2017年度の讃岐ジオサイト探訪

2017年度は10月から12月に、土器川上流（まんのう町）、小豆島太麻山（土庄町、小豆島町）、水主三山（東かがわ市）の3地点を探訪した。受講生は24名と、前年度と比較すると3回のコースと少ない講座になったためか、前年度の6割程度の参加者となった。

（1）土器川上流（まんのう町）

探訪日時：2017年11月5日（日）

受講者人数：18名

主な見どころ：

約200万年以前の土器川の源流付近では、現在の讃岐山脈のような起伏はなく、古吉野川が讃岐山脈を越えて香川県側に流れていたため、土器川上流域の三豊層群財田層には四国山地から供給されたと推定さ

れる片岩礫を含んでいる¹²⁾。一方、讃岐山脈隆起後（遅くとも120万年前以降）に堆積した三豊層群焼尾層（焼尾峠礫層）の礫はすべて讃岐山脈の和泉層群に由来する。讃岐山脈を形成する和泉層群の北縁の不整合付近には、沿岸部に堆積した礫岩・砂岩が分布し、「木戸の馬蹄石」と呼ばれるカキ礁の化石が香川県の天然記念物に指定されている¹³⁾。探訪では、天川神社の社叢を育んだ風化花崗岩、「木戸の馬蹄石」におけるカキ礁の生育環境、讃岐山脈隆起後に堆積した三豊層群焼尾層とともに、40年前まで水車があった製麺所でさぬきうどんを楽しんだ。

（2）小豆島太麻山（土庄町、小豆島町）

探訪日時：2017年11月12日（日）

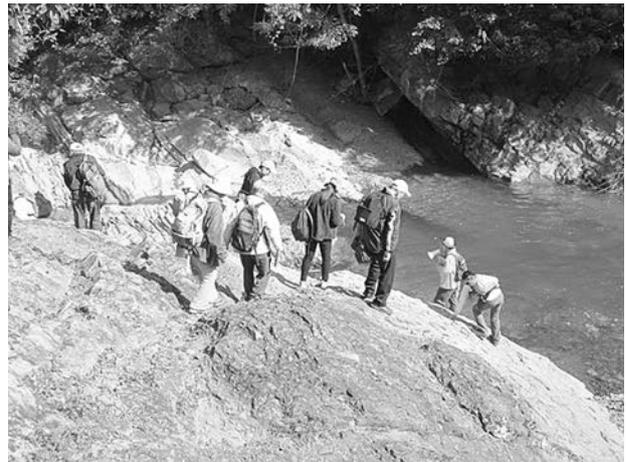
受講者人数：19名

主な見どころ：

太麻山たいまさんは土庄町肥土山と小豆島町池田町の境にある。太麻山南側の斜面には小豆島霊場第41番佛谷山三学院、第42番太麻山龍水寺があり、火山角礫岩の断崖が山岳霊場となっている。太麻山の山頂付近は小豆島層群寒霞溪累層の火山角礫岩で構成され、山頂の一部に讃岐岩質安山岩が露出している¹⁴⁾。太麻山の北側は、山体崩壊によって火山角礫岩の断崖が形成され、寒霞溪と同じような景観を見ることができる。探訪では、山岳道場立地場所とタフォニと呼ばれる洞窟のでき方について現地で検討した。



平成29年度ガイダンス（香川大学）



木戸の馬蹄石（まんのう町）



太麻山山頂（小豆島）



本宮山山頂のくじら岩（東かがわ市）

写真2 2017年度「讃岐ジオサイト探訪」見学状況

(3) 水主三山（東かがわ市）

探訪日時：2017年12月10日（日）

受講者人数：20名

主な見どころ：

水主三山は、室町時代の初め熊野三山などで修行した増呼僧正ぞううんが熊野信仰を広めた拠点とされている¹⁵⁾。水主三山のうち那智山と虎丸山は主に細粒花崗岩からできており、急峻な山容である。一方、本宮山は粗粒の花崗岩からなり、山頂にくじら石と呼ばれる巨大な花崗岩コアストーンが祀られている。探訪では、水主神社付近の地形と社叢も観察した。

与田川流域は水主三山の伏流水と花崗岩が風化してできたマサ土由来の土壌が作り出した「水主米」の産地である。マサ土に覆われた花崗岩の山は集中豪雨などによって崩れやすく、昭和51年の台風17号の集中豪雨では与田川上流の笠松川流域では土石流が多発し、大きな被害を受けたところでもある。

4. 2018年度の讃岐ジオサイト探訪

2018年度は、庵治半島（高松市）、与島・岩黒島・櫃石島（坂出市）、手島（丸亀市）、佐柳島（多度津町）、鬼ヶ白山・朝日山・傾山（三豊市）、小豆島丁場巡り（土庄町、小豆島町）の6地点を探訪した。受講者は前年度の24名から35名に増えた。

(1) 庵治半島（高松市）

探訪日時：2018年4月15日（日）

受講者人数：32名

主な見どころ：

庵治半島は花崗岩を基盤とした半島で、牟礼町と庵治町は最高級石材の庵治石を産出し、かつては石船を使って庵治石の運搬が盛んに行われていた所である。庵治半島北部の大仙山、遠見山、竜王山では、花崗岩の風化作用により風化をまぬがれたコアストーンが残っている。大仙山山頂では細粒花崗岩のコアストーンでできた立石と磐座群、遠見山では粗粒花崗岩のコアストーンの巨石群、竜王山ではコアストーンの巨石群の他に峠にある花崗岩製の石仏を観察した。探訪では、花崗岩コアストーンの信仰と、さらには庵治石の利用と関わりについて検討した。

(2) 与島・岩黒島・櫃石島（坂出市）

探訪日時：2018年5月13日（日）

受講者人数：30名

主な見どころ：

与島、櫃石島は全山花崗岩の島で、江戸時代より花崗岩コアストーンが石材として利用された。与島は石材で栄えた島で、与島の花崗岩は「与島石」と呼ばれ、かつては大坂城の石垣にも使われた¹⁶⁾。岩黒島は寛政9年（1797年）から開発された島で、島の北東部の斑れい岩は風化作用によって粘土化し、その斑れい岩の風化粘土を用いた瓦製造が行われていた。探訪では、与島・岩黒島・櫃石島を回り、地形・地質の違いによる島の生活・文化の違いを実感した。

（3）手島（丸亀市）

探訪日時：2018年6月10日（日）

受講者人数：25名

主な見どころ：

手島は南部山地と北部山地と中央の低地で構成され、集落は中央の低地に当たる尾方山南麓の緩斜面と入り江奥の浜堤上に集中している。手島中央部には、入り江が入り込んでできた潟湖（ラグーン）跡があり、一段低い湿地となっている。手島は、昭和16年から終戦までタングステンが採鉱されており、今でも尾方山西部の海岸ではタングステンの鉱山跡の坑道がある。現在手島は、香川本鷹と呼ばれる最高品種¹⁷⁾のトウガラシの栽培で有名な島であるが、かつてはタングステンの島であった。探訪では、島の地形・地質とタングステン採鉱の歴史や地形と土地利用との関係を調査した。

（4）佐柳島（多度津町）

探訪日時：2018年10月14日（日）

受講者人数：27名

主な見どころ：

佐柳島の集落は北東部の長崎地区と南東部の本浦地区に分かれている。山頂には板状節理の発達した讃岐岩質安山岩がキャップロック状に分布し、大天狗神社奥の院に向かう尾根沿いで板状節理を観察することができる。佐柳島の東側には無人島の小島があり、本浦の北から東に突き出した砂鼻の砂州が海底にも張り出し、海底が浅くなっている。佐柳島では、遺体を埋葬する「埋め墓」と靈魂を祭る「参り墓」を分ける両墓制が現存するものの中では日本最大規模とされ、香川県の有形民俗文化財に指定されている¹⁸⁾。佐柳島は「飛び猫」の島として紹介され、探訪当日のフェリーは観光客ではほぼ満席状態であった。探訪では、地形・地質と島の歴史・生活との関係を検討した。

（5）鬼ヶ白山・朝日山・傾山（三豊市）

探訪日時：2018年11月11日（日）

受講者人数：26名

主な見どころ：

鬼ヶ白山は、約9000万年前の花崗岩類でできた全山花崗岩の山で、朝日山・傾山はその花崗岩を基盤として、1400万年前の瀬戸内火山岩類（讃岐層群）が分布している。朝日山は凝灰岩、讃岐岩質安山岩溶岩が花崗岩をほぼ水平に覆っているビュートであるが、東半分が地すべりによって低く、山頂が2段になっている。傾山の南側は三豊層群砂礫層からなる丘陵が広がり、香川県内におけるお茶の栽培面積の7割を占める高瀬茶の産地である。探訪では、三山の地形・地質を比較するとともに、お茶の栽培地の地形・地質の関係を検討した。

（6）小豆島丁場巡り（土庄町、小豆島町）

探訪日時：2018年12月9日（日）

受講者人数：26名

主な見どころ：

小豆島は瀬戸内海を通じて大坂に近かったこと、小豆島で良質な花崗岩が産出することなどから、小豆

島の花崗岩は大坂城築城の石垣に運び出され、江戸時代諸大名が採石した石丁場が各所に残っている。この中でも、小豆島町岩谷地区で国指定史跡となっている「大坂城石垣石切丁場跡」は、南谷、天狗岩、豆腐岩、亀崎、八人石の五丁場から構成されている。各丁場には石垣用石や種石、そげ石が混在し¹⁹⁾、また、10センチ程度の矢穴や刻印のある石垣石や巨石が多数みられ、当時の石切り技術を今に伝えている。探訪では、これらの石丁場を貸切バスで巡回し、石切丁場は所轄の藩が異なっても同じ手法で石切りを



大仙山山頂（庵治半島）



黒浜の斑れい岩と瀬戸大橋（岩黒島）



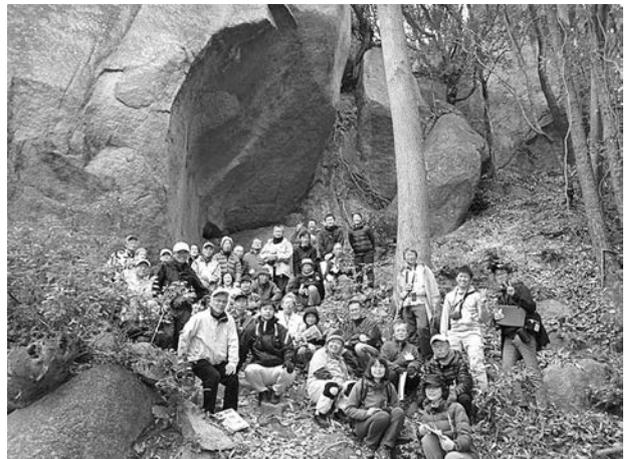
花崗岩コアストーンと小島（佐柳島）



西浦の浜（手島）



朝日山頂（三豊市）



天狗岩丁場（小豆島）

写真3 2018年度「讃岐ジオサイト探訪」見学状況

行っていることを確認した。安土桃山時代まで野面積みであった城郭の石垣が、江戸時代初期の大坂城築城を機に方形に整形した石材を切り出しており、短期間に起きた石材加工の技術革新に目を見張った。

5. 考察

5.1 アンケート結果

香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」の全講座終了後にはアンケート調査が実施されている。各年度のアンケート結果は次の通りである。

2016年度のアンケート結果によると、新規参加者10名の中には内容が難しく感じた人もいるが、講座は受講者に好評であり、講義の内容についてもおおいに興味が増してきていることがわかる（図1）。「歴史的に参考になった」とのコメントもみられ、受講者には歴史好きな方がいることもうかがえる。

2017年度のアンケート結果によると、講座は楽しくわかりやすいという大半の評価の一方、新規参加者5名の中には内容が難しく感じた人もいるようである。講座は受講者に好評であり、受講者全員が次回もこの講座に「参加したい」と回答している（図2）。2017年度は山地のジオサイトを探訪したため、「平地の地形地質」にも興味があるとのコメントがあった。

2018年度のアンケート結果では、新規受講者が10名いたにもかかわらず、難しいと感じる人がおらず、「大変興味を増した」受講者が大半であった。これまでのジオサイト探訪では地形・地質を理解することに重点を置いていたが、2018年度はジオサイトの歴史、食、生活に焦点をあて、どのように地質が関係しているかを理解するようにシフトしたことが講座のわかりやすさにつながったと考えられる。また、後述する地域との連携を行ったことで地元の方ならではの話を聞くことができたことが大きく影響していると考えられ、ジオガイド養成やモデルコース作成時の参考にしたい。アンケートのコメントでは、現地を見ながらの講座が理解しやすいという旨や、探訪場所が同じであっても新しい情報を加えて継続してほしいという提案があった。また、安全第一の講座なので「安心して歩ける」というコメントもいただいた（図3）。

5.2 地域との連携

平成30年度から地域と連携することも課題とした。

丸亀市の「手島」探訪では、手島自然教育センターを管理されている高田正明さんの案内で、地形・地質や生活について勉強した。

多度津町の「佐柳島」探訪では、さくらサイエンスプロジェクトによって香川大学を訪れたネパール王国トリブバン大学の学生も同行し、瀬戸内の大地と人の営みについて理解を深めた。

三豊市の「鬼ヶ白山・朝日山・傾山」の探訪では、まちづくり推進隊高瀬の高木知巳元代表に同行いただき、地域の活動を紹介していただいた。また、無双地図株式会社の横山昌太郎さんが取材に同行し、FM香川週刊みとよほんまモンRadio!のブログで探訪を紹介していただいた²⁰⁾。

小豆島丁場巡りでは、小豆島町社会教育課の川宿田好見学術専門員による案内で、石切丁場と江戸時代の文化や海上交通とのつながりについて学習した。また、香川県小豆事務所から3名、土庄町役場から2名にも同行いただき、小豆島にある石丁場について理解を深めた。

讃岐ジオパーク構想を推進するためには、地域におけるネットワーク作りが重要である。今後は、これまで以上に地域との連携を進めていきたい。

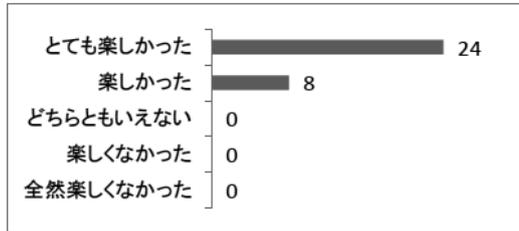
【H28年度 公開講座受講者アンケート集計結果】

讃岐ジオサイト探訪(6)

受講生 39名(回答32名) 実施日:7月10日

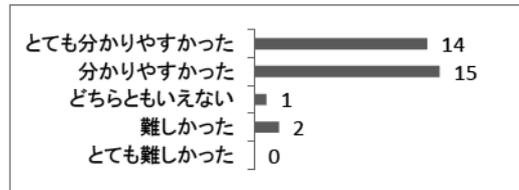
1 講座の感想をお答えください。

とても楽しかった	24
楽しかった	8
どちらともいえない	0
楽しなかった	0
全然楽しなかった	0
無回答	



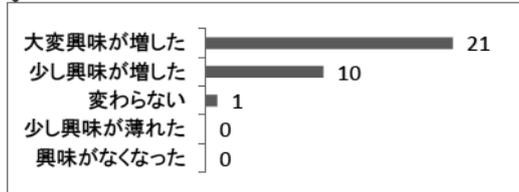
2 内容はよく理解できましたか。

とても分かりやすかった	14
分かりやすかった	15
どちらともいえない	1
難しかった	2
とても難しかった	0
無回答	



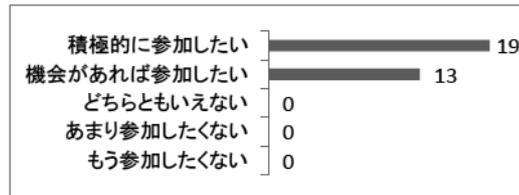
3 受講して、テーマへの興味が増えましたか。

大変興味が増した	21
少し興味が増した	10
変わらない	1
少し興味が薄れた	0
興味がなくなった	0
無回答	



4 また参加したいと思いますか。

積極的に参加したい	19
機会があれば参加したい	13
どちらともいえない	0
あまり参加したくない	0
もう参加したくない	0
無回答	



5 これから希望する講座内容や気がついたことなど、自由にお書き下さい。

- ・ジオ関係を続けて欲しい。(70代男性)
- ・歴史的に参考になりました。(70代)
- ・特に希望はありませんが継続的に案内資料のご送付をお願いします。(70代)
- ・ありがとうございました。機会があればまたお世話になります。(60代)

図1 2016年度アンケート結果

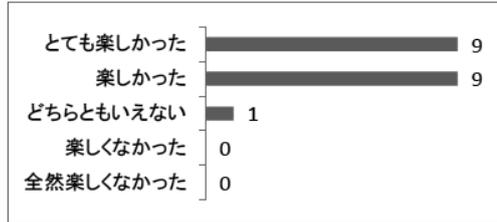
【H29年度 公開講座受講者アンケート集計結果】

讃岐ジオサイト探訪(7)

受講生24名(回答19名) 実施日: 12月 10日

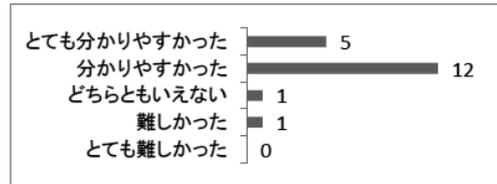
1 講座の感想をお答えください。

とても楽しかった	9
楽しかった	9
どちらともいえない	1
楽しくなかった	0
全然楽しくなかった	0
無回答	



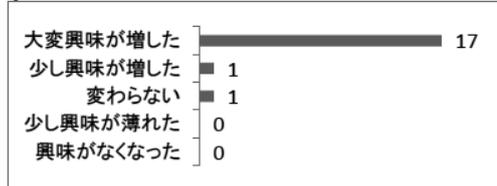
2 内容はよく理解できましたか。

とても分かりやすかった	5
分かりやすかった	12
どちらともいえない	1
難しかった	1
とても難しかった	0
無回答	



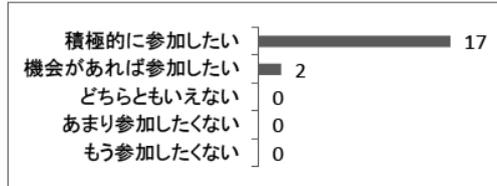
3 受講して、テーマへの興味が増しましたか。

大変興味が増した	17
少し興味が増した	1
変わらない	1
少し興味が薄れた	0
興味がなくなった	0
無回答	



4 また参加したいと思いますか。

積極的に参加したい	17
機会があれば参加したい	2
どちらともいえない	0
あまり参加したくない	0
もう参加したくない	0
無回答	



5 これから希望する講座内容や気がついたことなど、自由にお書き下さい。

- ・来年度も発展させて下さい。(60代男性・3回目以上・センターから)
- ・山より平野、海岸などいかがでしょうか。(70代以上・3回目以上・センターから)
- ・平地の地形・地質も考えてみてください。(60代・3回目以上・センターから)
- ・ジオサイトがきっかけで地元の再発見が出来ました。専門的な事はまだまだ理解出来ませんが、地元愛は増したと思います。今年は豊浜のなしか買いませんでした。なにげない風景が輝きました。(40代女性・3回目以上・ロコミ)
- ・ありがとうございました。久々で疲れました。くじら岩の大きさに改めてスゴイ！と思いましたが新しい方向けの説明があってもよかったかも。(50代女性・3回目以上・センターから)

図2 2017年度アンケート結果

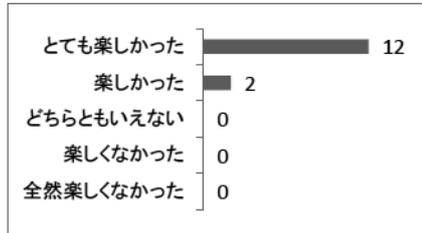
【H30年度 公開講座受講者アンケート集計結果】

讃岐ジオサイト探訪(8)

受講生 36名(回答 14名) 実施日: 12月9日

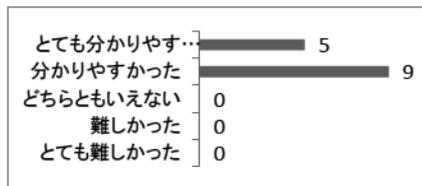
1 講座の感想をお答えください。

とても楽しかった	12
楽しかった	2
どちらともいえない	0
楽しくなかった	0
全然楽しくなかった	0
無回答	0



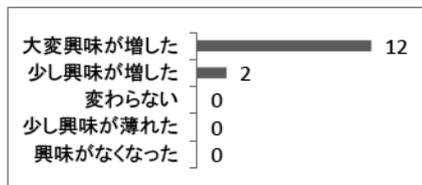
2 内容はよく理解できましたか。

とても分かりやすかった	5
分かりやすかった	9
どちらともいえない	0
難しかった	0
とても難しかった	0
無回答	0



3 テーマへの興味が増しましたか。

大変興味が増した	12
少し興味が増した	2
変わらない	0
少し興味が薄れた	0
興味がなくなった	0
無回答	



4 これから希望する講座内容や気がついたことなど、自由にお書き下さい。

- ・本講座のように現地を含めた講座にして理解しやすくしてほしい。現地は同じであっても、新しい情報を加えることで続けてほしい。(60代男性)
- ・安全第一で歩いてくださるので安心して歩けます。いろいろな島のジオサイトを巡りたいと思います。(50代女性)
- ・この公開講座をきっかけに、香川県は魅力的な場所だと改めて思いました。ありがとうございました。(10代女性)

図3 2018年度アンケート結果

6. おわりに

現在までに香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」で訪問した地点も増え、讃岐ジオサイトの資料も45地点となった。講座の受講者も平均30人を超える大きな講座となり、讃岐ジオパークをめざす仲間の輪も広がってきている。

来年度も、地域のジオサイトの魅力を伝える香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」を開講し、地道な活動を継続予定である。加えて、来年度開催する香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」では、ジオパーク立ち上げからジオパークに認定されるまでのネットワーク作り、ノウハウ、ジオパークの活動方法について学習する予定である。また、「讃岐ジオガイド養成講座」で認定されたジオガイドが実際にガイドをする新規講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト」では、公開講座で養成されたジオガイドとしてジオサイトを案内することで社会貢献に参加するとともに、新たな受講者を増やし、讃岐の大地に育まれた風土の魅力を伝えてゆく計画である。また、探訪の際に作成したガイド資料の出版計画も今後進めていきたい。

【参考文献】

- 1) 日本ジオパークネットワーク：<http://www.geopark.jp/>（2019.1.25閲覧）
- 2) 長谷川修一・鶴田聖子・寺林優・高木知巳・前田宗一：讃岐ジオパーク構想，日本応用地質学会中国四国支部平成25年度研究発表会論文集，19-24，2013.
- 3) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学生涯学習研究センター研究報告別冊「讃岐ジオサイト探訪」，133p.，2013.
- 4) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第22号，1-20，2017.
- 5) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第23号，1-22，2018.
- 6) 長谷川修一・鶴田聖子：香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」活動報告，香川大学生涯学習教育研究センター研究報告，第19号，1-16，2014.
- 7) 日本地質学会：<http://www.geosociety.jp/name/content0146.html>（2019.1.25閲覧）
- 8) 三豊市観光協会：<http://www.mitoyo-kanko.com/?p=1448>（2019.1.25閲覧）
- 9) せとうち暮らし：<http://setouchikurashi.jp/island/info/shishi/>（2019.1.25閲覧）
- 10) 日本ダム協会：<http://damnet.or.jp/Dambinran/binran/TopIndex.html>（2019.1.25閲覧）
- 11) 観音寺市：<http://kanonji-kankou.jp/visit/01/013.html>（2019.1.25閲覧）
- 12) Akira Sangawa: Geomorphic Development of the Izumi and Sanuki Ranges and relating Crustal Movement, Science Reports of the Tohoku University, Seventh Series (Geography), 28, 2, 313-338, Faculty of Science, 1978.
- 13) 香川県「香川の環境」：<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kankyo/shizen/guidemap/kinebutu/19.htm>（2019.1.25閲覧）
- 14) 巽好幸：小豆島の火山地質—瀬戸内火山岩類の噴出状況—地質学雑誌No.89, pp.693-706, 1983.
- 15) 広報東かがわ「東かがわ文化財めぐり」，2017.8.
- 16) 香川県：<https://www.my-kagawa.jp/>（2019.1.25閲覧）
- 17) 丸亀市：https://www.city.marugame.lg.jp/sightseeing/spot/shiwakushoto/page_05.html（2019.1.25閲覧）
- 18) 香川県さぬき瀬戸しまネッ島：<http://www.pref.kagawa.lg.jp/chiiki/seto-island/detail/sanagijima/>（2019.1.25閲覧）
- 19) 小豆島町：http://www.town.shodoshima.lg.jp/kurashi/kyoiku_bunka/geijyutsu_bunka.html#05.（2019.1.25閲覧）
- 20) FM香川週刊みとよほんまモンRadio!：<http://mitoyo-honmamon.seesaa.net/artide/462702285.html>（2019.2.21閲覧）